

編 入 学

■ 編入学生の単位修得方法

編入学生が、本学を卒業するためには、2年以上在学し、下表のとおり卒業要件単位を修得しなければならない。ただし、本学に入学する以前の修得科目等により修得しなければならない授業科目および単位数が異なる場合があるので、各学科の教務センター担当教員の指導を受け、卒業するために必要な科目を間違えないように履修すること。また、資格取得を希望している場合は、入学以前の取得資格によって必要な授業科目および単位数が異なるので、各学科の教務センター担当教員と相談し、履修科目を決めること。

● 2017年度編入学生の履修一覧

● 英文学科

		授業科目名	単位数
一般教育科目		キリスト教と現代社会（※）	2単位
		特殊研究 A	2単位
		ライフワーク論	2単位
		科学技術論	2単位
		外国語（※）	2単位
		計	10単位
専門教育科目	Comprehensive Communication : C2	Intermediate Speaking 1・2（※）	2単位
		Intermediate Listening 1・2（※）	2単位
		Translation 1	2単位
		Translation 2	2単位
	英語学コース科目	ことばと人間 1・2、英語の歴史、コーパス言語学、生成文法 I・II、英語音声学 I・IIの中から2科目以上	4単位
	英米文化・文学コース科目	イギリス文学史 I・II、アメリカ文学史 I・II、英米小説の世界 1・2、文学作品講読 1・2、英米演劇の世界 1・2、イギリスの生活と文化 1・2、アメリカの生活と文化 1・2、英米文化論講読 1・2の中から4科目以上	8単位
その他	英語学コース、英米文化・文学コースのいずれかを選択し、所属するコースの基礎セミナー I と II の4単位。卒業研究セミナー I と II と卒業論文の計8単位、あるいは卒業研究セミナー I と II と卒業論文を選択しない場合は、所属するコースの4年次開設科目から8単位以上履修すること。	12単位	
	計	32単位	

※上記の表の履修要件（卒業要件単位）を満たし、62単位以上履修しなければならない。

※宮城学院女子短期大学および大学を卒業した編入学生の場合、「キリスト教と現代社会」の履修を免除する。

※外国語については、編入学前の英語以外の修得単位数が4単位未満の場合、第二外国語を2単位履修すること。

※「Intermediate Speaking 1・2」と「Intermediate Listening 1・2」は「Teaching Internship 制度」により単位を取得することができる。「Teaching Internship 制度」について詳しくは英文学科教務センター担当教員に確認すること。

※専修学校の専門課程を修了した者も上記に準じる。

※科目名の I・II は段階制を表しているので、下位レベル科目から順次履修すること。

※他学科開設科目について、8単位まで卒業要件単位として含めることができる。

● 日本文学科

		授業科目名	単位数
一般教育科目		キリスト教と現代社会（※）	2単位
		特殊研究 A	2単位
		ライフワーク論	2単位
		科学技術論	2単位
		外国語（※）	2単位
		計	10単位
専門教育科目		日本文学科開設科目から12科目以上	24単位以上
		演習4科目以上	8単位以上
		卒業研究演習 I・II、卒業論文・制作	8単位以上
		計	40単位以上

※上記の表の履修要件（卒業要件単位）を満たし、62単位以上履修しなければならない。

※宮城学院女子短期大学および大学を卒業した編入学生の場合、「キリスト教と現代社会」の履修を免除する。

- ※外国語については、編入学前の第一・第二外国語の修得単位数が合わせて8単位未満の場合、第一・第二外国語2単位を履修する。
- ※「教育実習」を履修する場合は、「日本古典文学史 A」、「日本古典文学史 B」、「日本近代文学史 A」、「日本近代文学史 B」、「日本語概説 A」、「日本語概説 B」、「日本文学基礎演習」を履修すること。
- ※専修学校の専門課程を修了した者も上記に準じる。

●人間文化学科

▼専修学校の専門課程修了者を除く者に適用

		授業科目名	単位数
一般教育科目		キリスト教と現代社会	2単位
		ライフワーク論	2単位
		科学技術論	2単位
		外国語	2単位
		計	8単位
専門教育科目	A	3つのコースの中から1つのコースを選択し、その選択したコースに開設されている「科目群」から、10科目20単位以上	人間コース・歴史コース・社会コースから各20単位
	B	卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文	8単位
	C	上記の科目以外に、1年次から4年次に開設されている専門教育科目中の任意の授業科目	人間コース・歴史コース・社会コースから各30単位
		A、B、Cの合計	56単位

●卒業要件単位

編入学生の卒業には、次の要件を満たし、合計62単位以上を履修・修得する必要がある。

1. 一般教育科目

「キリスト教と現代社会」(2単位)、「ライフワーク論」(2単位)、「科学技術論」(2単位)の計6単位を履修する。

ただし、宮城学院女子短期大学および大学を卒業した編入学生の場合、「キリスト教と現代社会」の履修を免除する。また、編入学前の第一・第二外国語の修得単位数が合わせて8単位未満の場合、第一・第二外国語2単位を履修する。

2. 専門教育科目

以下の(1)、(2)の条件を満たした上で、58単位以上を履修する。

(1)コースの中から10科目20単位

3つのコースの中からコースを決定し(後述)、そのコースに開設されている科目群の中から10科目20単位以上履修すること。なお、10科目20単位には必修の「演習Ⅲ・Ⅳ」が含まれる。

(2)卒業研究(卒業論文)

「卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)を履修し、卒業論文(4単位)を提出すること。

(3)その他専門科目

(1)、(2)の科目のほか、第1～4学年に開設されている専門教育科目中の任意の授業科目から、30単位以上を履修する。その際、選択したコース内に開設されている授業科目をなるべく多く履修することが望ましい。また、各コースに開設されている演習Ⅰ・Ⅱを履修することが望ましい。

(4)他学科の開放科目

(3)の「その他」の専門科目には、学芸員に関する科

目(△印の科目)他学科で開放科目に指定されている科目、一般教育科目の選択科目および「単位互換制度」による他大学の科目を12単位まで含めることができる。

●「専攻コース」の決定

1. 「コース」について

編入学生は、4月の科目登録の時点でコースを選択・決定することになる。3つのコースからいずれか1つを自分の「専門コース」として決定する。

コース	専門分野
人間コース	言語学、宗教学、哲学
歴史コース	日本史、東洋史、西洋史 日本美術史、西洋美術史
社会コース	社会学、経済学、地理学

2. コース決定の方法

コースを選ぶ際は、人間文化学科専門科目の中から第3学年に開設されている「演習科目」のシラバスをよく読み、それを目安として検討する。今後2年間の学習分野として最もふさわしく、卒業論文のテーマ設定にふさわしいと考えるものを選び、履修登録する科目を決定することにより、自分の「専門コース」となる。

注)「演習科目」とは専門科目のうち「○○演習」と表記されている科目をさす。

3. 免許・資格の取得

編入学生が教育職員免許状や学芸員資格の取得を希望する場合、免許・資格にかかわる科目の単位については個別に認定が必要となる。免許・資格の取得希望者は、単位の認定を受けてからその内容に応じた履修登録をすること。

▼専修学校修了者に適用

		授業科目名	単位数
一般教育科目		キリスト教と現代社会	2単位
		ライフワーク論	2単位
		科学技術論	2単位
		外国語	2単位
	計		8単位
専門教育科目	A	3つのコースの中から1つのコースを選択し、その選択したコースに開設されている「科目群」から、10科目20単位以上および2年次に開設されている授業科目中の任意の2科目	人間コース・歴史コース・社会コースから各28単位
	B	卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文	8単位
	C	上記の科目以外に、1年次から4年次に開設されている専門教育科目中の任意の授業科目	人間コース・歴史コース・社会コースから各30単位
	D	A、B、Cの合計	64単位

●卒業要件単位

編入学生の卒業には、次の要件を満たし、合計70単位以上を履修・修得する必要がある。

1. 一般教育科目

「キリスト教と現代社会」(2単位)、「ライフワーク論」(2単位)、「科学技術論」(2単位)の計6単位を履修する。

ただし、短期大学等における外国語(第一、第二外国語)の既修得単位が合計8単位未満の場合は、外国語2単位を加えて合計8単位を履修すること。

2. 専門教育科目

以下の(1)、(2)の条件を満たした上で、66単位以上を履修する。

(1)コースの中から10科目20単位

3つのコースの中からコースを決定し(後述)、そのコースに開設されている科目群の中から10科目20単位および2年次に開設されている授業科目中任意の科目(4科目8単位)を履修すること。なお、10科目20単位には必修の「演習Ⅲ・Ⅳ」が含まれる。

(2)卒業研究(卒業論文)

「卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)を履修し、卒業論文(4単位)を提出すること。

(3)その他

(1)、(2)の科目のほか、1～4年次に開設されている専門教育科目中の任意の授業科目から、30単位以上を履修する。その際、選択したコース内に開設されている授業科目をなるべく多く履修することが望ましい。また、各コースに開設されている演習Ⅰ・Ⅱを履修することが望ましい。

(4)他学科の開放科目

(3)の「その他」の専門科目には、学芸員に関する科目(△印の科目)他学科で開放科目に指定されている科目、一般教育科目の選択科目および「単位互換制度」による他大学の科目を12単位まで含めることができる。

●「専攻コース」の決定

1. 「コース」について

編入学生は、4月の科目登録の時点でコースを選択・決定することになる。3つのコースからいずれか1つを自分の「専門コース」として決定する。

コース	専門分野
人間コース	言語学、宗教学、哲学
歴史コース	日本史、東洋史、西洋史 日本美術史、西洋美術史
社会コース	社会学、経済学、地理学

2. コース決定の方法

コースを選ぶ際は、人間文化学科専門科目の中から3年次に開設されている「演習科目」のシラバスをよく読み、それを目安として検討する。今後2年間の学習分野として最もふさわしく、卒業論文のテーマ設定にふさわしいと考えるものを選び、履修登録する科目を決定することにより、自分の「専門コース」となる。

注)「演習科目」とは専門科目のうち「○○演習」と表記されている科目をさす。

3. 免許・資格の取得

編入学生が教育職員免許状や学芸員資格の取得を希望する場合、免許・資格にかかわる科目の単位については個別に認定が必要となる。免許・資格の取得希望者は、単位の認定を受けてからその内容に応じた履修登録をすること。

●音楽科

		授業科目名	単位数	
一般教育科目		キリスト教と現代社会(※)	2 単位	
		特殊研究 A	2 単位	
		ライフワーク論	2 単位	
		科学技術論	2 単位	
		外国語 (※)	2 単位	
		計	10 単位	
実技系	部門共通	専攻実技Ⅲ A	2 単位	
		専攻実技Ⅲ B	2 単位	
		専攻実技Ⅳ A	2 単位	
		専攻実技Ⅳ B	4 単位	
		指揮法	2 単位	
	ピアノ部門	音楽史特講A	2 単位	
		副科オルガン	1 単位	
	オルガン部門	音楽史特講A	2 単位	
		副科ハーブシコード	1 単位	
		コレギウム A	1 単位	
		コレギウム B	1 単位	
	管楽器部門	室内楽 E	1 単位	
		室内楽 F	1 単位	
	弦楽器部門	室内楽 E	1 単位	
		室内楽 F	1 単位	
		副科弦楽器 (ヴィオラ) Ⅲ (Vn 専攻のみ)	1 単位	
		副科弦楽器 (ヴァイオリン) Ⅲ (Va 専攻のみ)	1 単位	
	声楽部門	オペラ基礎演習Ⅰ A	1 単位	
		オペラ基礎演習Ⅰ B	1 単位	
		オペラ基礎演習Ⅱ A	1 単位	
		オペラ基礎演習Ⅱ B	1 単位	
		音楽史特講B	2 単位	
	専門選択科目	『音楽科専門科目』の『共通教育科目』及び『実技共通科目』から	14 単位以上	
	計	28 ~ 32 単位		
文化系	音楽文化部門	音楽学特講	4 単位	
		音楽文化セミナーⅠ	2 単位	
		音楽文化セミナーⅡ	2 単位	
		音楽文化専攻セミナーⅠ	2 単位	
		音楽文化専攻セミナーⅡ	2 単位	
		卒業研究セミナーⅠ	2 単位	
		卒業研究セミナーⅡ	2 単位	
		卒業研究	4 単位	
		応用制作部門	音楽学特講	4 単位
			音楽制作セミナーⅠ	2 単位
	音楽制作セミナーⅡ		2 単位	
	応用制作専攻セミナーⅠ		2 単位	
	応用制作専攻セミナーⅡ		2 単位	
	卒業研究セミナーⅠ		2 単位	
	卒業研究セミナーⅡ		2 単位	
	卒業研究		4 単位	
	専門選択科目	指揮法	2 単位	
		『音楽科専門科目』の『共通教育科目』及び『実技共通科目』から	8 単位以上	
		『音楽文化基礎講義』、『生活音楽論講義』、『社会音楽学講義Ⅰ、Ⅱ』、『音楽文化学講義Ⅰ、Ⅱ』から	8 単位以上	
		計	38 単位以上	

※上記表の履修要件（卒業要件単位）を満たし、62 単位以上履修しなければならない。

※宮城学院女子短期大学および大学を卒業した編入学生の場合、「キリスト教と現代社会」の履修を免除する。

※外国語については、編入学前の第一・第二外国語の修得単位数が合わせて 8 単位未満の場合、第一・第二外国語 2 単位を履修する。

●食品栄養学科

食品栄養学科においては、本学に2年以上在学し、本学学則第14条第1項に定める単位を修得しなければならない。その際、編入学以前に修得した授業科目および単位については、本学で修得した授業科目および単位として認定することができる。

※食品衛生管理者および食品衛生監視員資格は取得できない。

●生活文化デザイン学科

	部門	授業科目	単位数
一般教育科目	キリスト教と現代社会(※)		2単位
	特殊研究A		2単位
	特殊研究B		2単位
	科学技術論		2単位
	外国語(※)		2単位
	計		10単位
専門教育科目	専門共通科目	環境文化科目	4単位以上
	生活文化デザイン科目		16単位以上
	全ての専門科目(環境文化科目、生活文化デザイン科目を含む)		20単位以上
	卒業研究基礎演習Ⅰ		2単位
	卒業研究基礎演習Ⅱ		2単位
	卒業研究演習Ⅰ		2単位
	卒業研究演習Ⅱ		2単位
	卒業論文・設計		4単位
	計		52単位以上

※上記の表の履修要件(卒業要件単位)を満たし、62単位以上履修しなければならない。

※宮城学院女子短期大学および大学を卒業した編入学生の場合、「キリスト教と現代社会」の履修を免除する。

※外国語については、編入学前の第一外国語の修得単位数が4単位未満の場合、第一・第二外国語2単位を履修する。

●発達臨床学科

	授業科目名	単位数	
一般教育科目	キリスト教と現代社会(※)	2単位	
	特殊研究A	2単位	
	特殊研究B	2単位	
	科学技術論	2単位	
	外国語	2単位	
	計	10単位	
専門教育科目	心理系、または福祉系	どちらか一方の系の科目	10単位以上
	専門領域群	どの科目でもよい	10単位以上
	①～⑤のいずれか一つ以上 ①卒業論文 ②ソーシャルワーク実習 ③保育実習AⅡおよび保育実習C ④教育実習Ⅱおよび教育実習Ⅲ ⑤保育実習Bおよび発達支援実習		4単位以上
	計		24単位以上
その他	一般教育科目の選択科目、専門教育科目の選択科目、他学科の開放科目から	3単位	

1. 卒業要件単位

発達臨床学科として卒業に必要な合計単位数は下表の通りです。それぞれの区分で最低単位数が決められている。科目登録の際には十分に注意すること。

▼ 卒業に必要な最低単位数

	コース	一般教育科目	専門教育科目	その他の科目 ¹⁾	合計
編入学生 (3年次より在学)	心理コース	8 ²⁾ (+2)	51(心理系科目10単位以上含む)	3	62
	福祉コース	8 ²⁾ (+2)	51(福祉系科目10単位以上含む)	3	62

1) その他の科目とは、発達臨床学科専門教育科目の選択科目、他学科の開放科目、一般教育科目の選択科目、及び他大学の単位互換科目。

2) 一般教育科目は、「キリスト教と現代社会」(2単位)、「特殊研究A」(2単位)、「特殊研究B」(2単位)、「科学技術論」(2単位)の計8単位。さらに第一外国語の既修得単位数が4単位に満たない場合は、第一・第二外国語あわせて2単位を修得しなければならない。

※宮城学院女子短期大学および大学を卒業した編入学生の場合、「キリスト教と現代社会」の履修を免除する。

2. 専門教育科目の履修方法

下表の3つの要件を全て満たすように履修します。

▼表 専門教育科目履修の要件

要件	群、系、科目	単位数	
1	心理コースは心理系科目 福祉コースは福祉系科目	10 単位	
2	専門領域群	10 単位	
3	①～⑤のいずれか一つ	履修要件	
	①卒業論文	心理系科目から 1 科目 福祉系科目から 1 科目 保育系科目から 1 科目	4 単位以上
	②ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習指導 I	
	③保育実習 C	保育実習 A II、B	
	④教育実習 III	教育実習 II	
⑤発達支援実習	保育実習 A II、B		

3. 免許・資格について

免許や資格を取得するには、その要件としての科目をすべて修得しなければならない。それらの科目は、本学での開設科目以外にも、他大学で修得した科目で振替えることができる場合もある（ただし、卒業要件 62 単位に含めることはできない）。取得できる免許・資格は、振替できる科目数によって異なる。また、免許・資格の取得に必要な実習の履修については、そのために最低限修得しておかなければならない科目があるので、個別に指導する。なお、振替できる科目が少ない場合には、卒業までの 2 年間で免許あるいは資格を取得することはできない（保育士資格または幼稚園教諭一種免許状のいずれか、またはその両方を取得する場合には、原則として 3 年かかる）。

●国際文化学科

編入学生の履修方法

(1)編入学前の第一・第二外国語の修得単位数が合わせて **8 単位未満の場合**、下記のとおり **2 単位**を履修する。

- ・ヨーロッパを重点的に学ぶ場合→フランス語、ドイツ語のいずれか一つの言語。
- ・東アジアを重点的に学ぶ場合→中国語、朝鮮語のいずれか一つの言語。
- ・その他の地域を重点的に学ぶ場合→フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語のいずれか一つの言語。

(2)短大卒業の編入学生の場合、外国語の履修がかなり不足している現状に鑑み、基礎的な語学力を高めさせるために、上記選択 2 単位の他にも出来るだけ履修することが望ましい。

▼同系列の短大から編入学の場合に適用

	授業科目名	単位数	
一般教育科目	ライフワーク論	2 単位	
	科学技術論	2 単位	
	外国語	2 単位	
	計	6 単位	
専門教育科目	世界と日本	開設科目全域から選択	2 単位以上
	文化と思想	1・2 年次選択科目から 2 単位以上、および 4 年次必修「宗教と文化」(2 単位)	4 単位以上
	国際社会と環境	開設科目全域から選択	4 単位以上
	国際文化特論	開設科目全域から選択	4 単位以上
	地域研究	系列を問わず選択科目	8 単位以上
	演習	3 年次必修「国際文化演習 I、国際文化演習 II」	4 単位
	卒業論文	4 年次必修「卒業論文演習 I、卒業論文演習 II、卒業論文」	8 単位
	言語とコミュニケーション	「言語と社会」または「異文化間コミュニケーション」	2 単位以上
		会話系科目 (English Communication または科目名に「会話」が付く科目)	2 単位以上
	その他	その他の科目から選択	8 単位以上
その他	任意の専門科目および開放科目	14 単位以上	
計		58 単位以上	

【備考】

専修学校の専門課程を修了した者も上記に準じる。

▼異系列の短大から編入学の場合に適用

		授業科目名	単位数
一般教育科目		ライフワーク論	2 単位
		科学技術論	2 単位
		外国語	2 単位
		計	6 単位
専門教育科目		世界と日本	開設科目から選択 2 単位以上
		文化と思想	1・2 年次選択科目から 2 単位以上、および 4 年次必修「宗教と文化」(2 単位) 4 単位以上
		国際社会と環境	開設科目から選択 8 単位以上
		国際文化特論	開設科目から選択 4 単位以上
		地域研究	一つの系列から 8 単位以上 その他の系列から 4 単位以上 12 単位以上
		演習	3 年次必修「国際文化演習Ⅰ、国際文化演習Ⅱ」 4 単位
		卒業論文	4 年次必修「卒業論文演習Ⅰ、卒業論文演習Ⅱ、卒業論文」 8 単位
		言語とコミュニケーション	「言語と社会」または「異文化間コミュニケーション」 会話系科目 (English Communication または科目名に「会話」が付く科目) 2 単位以上
		その他	その他の科目から選択 8 単位以上
		計	任意の専門科目および開放科目 6 単位以上 58 単位以上

【備考】

- ①第 3 学年以降に履修しうる科目については、一般学生の履修に準じた方法で履修する。
- ②第 1、2 学年までに履修すべき科目については、一般学生に速やかに追いつけるよう、修得済みの科目等を勧奨しながら、学習すべき科目の指定を受ける。
- ③専修学校の専門課程を修了した者も上記に準じる。

●心理行動科学科

		授業科目名	単位数	
一般教育科目		キリスト教と現代社会(※)	2 単位	
		特殊研究 A	2 単位	
		ライフワーク論	2 単位	
		科学技術論	2 単位	
		外国語※	2 単位	
		計	10 (※ 8) 単位	
専門教育科目	セミナー	心理行動セミナーⅢ	2 単位	
		心理行動セミナーⅣ	2 単位	
		卒業研究セミナーⅠ	2 単位	
		卒業研究セミナーⅡ	2 単位	
		卒業論文	4 単位	
	専門基礎科目	基礎科目	心理統計法概説	2 単位
			心理統計法実習	2 単位
		展開科目	心理学基礎実験実習Ⅰ	2 単位
			心理学基礎実験実習Ⅱ	2 単位
			教育心理学概説、学習心理学概説 認知心理学概説、生理心理学概説 パーソナリティ心理学概説 社会心理学概説	4 単位以上
	専門発展科目	基礎科目	心理学研究法概論Ⅰ	2 単位
			心理学研究法概論Ⅱ	2 単位
		展開科目	社会調査法概論Ⅰ	2 単位
			社会調査法概論Ⅱ	2 単位
発達心理学、乳幼児心理学 児童青年心理学、臨床心理学 カウンセリング法概説		4 単位以上		
特殊講義	心理行動特殊講義Ⅰ 心理行動特殊講義Ⅱ	8 単位以上		
その他	心理行動実践研修 A	2 単位		
	計	46 単位以上		

※一般教育科目は、「キリスト教と現代社会」(2 単位)、「特殊研究 A」(2 単位)、「ライフワーク論」(2 単位)、「科学技

術論」(2単位)の計8単位。さらに第一外国語の既修得単位数が4単位に満たない場合は、第一・第二外国語2単位を修得しなければならない。

※宮城学院女子大学および大学を卒業した編入学生の場合、「キリスト教と現代社会」の履修を免除する。

●児童教育学科

◆編入学生の卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計62単位以上履修しなければならない。単位数の内訳は一般教育科目(6単位)、児童教育学科専門教育科目(52単位)、及びその他の科目(4単位)である。

(1)一般教育科目

一般教育科目は、「特殊研究A」(2単位)、「特殊研究B」(2単位)、「科学技術論」(2単位)の計6単位を履修すること。ただし、外国語の既修得単位数が4単位に満たない場合は、英語2単位を修得しなければならない。

(2)専門教育科目

専門教育科目は、下記の表の要件を満たし、合計で52単位以上を履修すること。ただし、「教育実践科目群A」(16科目)は、卒業要件単位ではないため、その中に含めることはできない。

▼編入学生の児童教育学科専門教育科目の卒業要件

要件	部 門	履修方法	単位数
1	学校教育学科目群	特別支援教育論、キリスト教教育論、及びそれ以外の5科目から2科目	8単位
2	教育学演習科目群	教育学演習Ⅰ・Ⅱ、教育相談演習Ⅰ・Ⅱの2科目から1科目	4単位
3	卒業論文	卒業研究演習Ⅰ、卒業研究演習Ⅱ、卒業論文	8単位
		計	20単位

(3)その他の科目

その他の科目として、4単位以上を履修すること。児童教育学科専門教育科目の選択科目(教育実践科目群A除く)、一般教育科目の選択科目、他学科開設開放科目、及び単位互換科目(P21参照)から任意に選択して履修する。

◆教諭免許取得について

幼稚園教諭一種免許状及び小学校教諭一種免許状を取得するには、その要件としての科目を全て修得しなければならない。それらの科目は、他大学で修得した科目で振替えることができる(ただし、卒業要件62単位に含めることはできない)。振替単位数が少ない場合、卒業までの2年間で免許を取得することは難しい。既修得免許状がある場合も含めて、免許取得のための要件科目については個別に対応する。